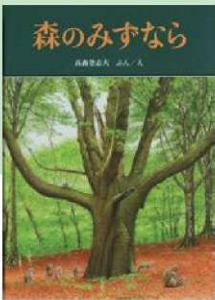




# あすもりサポーター通信

## さあ！今年も森づくりに出かけましょう！

4月、春の陽光がまぶしい季節となりました。当別の植樹地をはじめ各地の山々はまだ雪に覆われていることでしょう。今冬の積雪の多いところや寒さによって雪解けの時期がかなり違ってきます。今年の森づくりの楽しみを深めて、森にでかけませんか！前号に続き、森づくりを知るのにぴったりの「本」をご紹介します。



### 『森のみずなら』

ぶん・え / 高森登志夫さん 発行元 / 福音館書店

繊細なタッチの絵と色彩、森の全景や森の動物達、季節の移りかわりなど、みずならの一生とともに何度でも眺めていたい絵本です。

### 『北の木と語る』▶

著者 / 西川栄明さん 写真 / 本田 匡さん 発行元 / 北海道新聞社

道産材の魅力・木に関わるあらゆる段階の人たちの仕事ぶり、でき上がった作品の色合いや形など、とても興味がわいてきます。



### 『木育の本』

著者 / 煙山泰子さん、西川栄明さん 発行元 / 北海道新聞社

煙山泰子さんは、2012年度のあすもり基金高額助成団体「木育ネットワーク」の代表。木と森と人とのつながりについて、書かれています。

冬の間、わくわくしながら本を読んだり、眺めたり。でも、実際に見たり探したりするのはもっと楽しいことです。香りや肌に受ける風など、体験でしか味わえない醍醐味です。5月中旬から各地区で植樹が開催されます。今年もどうぞご参加ください。

基金運営委員 井上 久子



## 全道各地で植育樹がはじまります。

全道で植樹をしよう！と、あすもり基金がスタートしてから4年目。「コープの森」と名づけられた植樹地は2008年の当別町にはじまり、美幌町、知内町、豊浦町、むかわ町、上士幌町、白糠町、東川町、栗山町、喜茂別町と増えました。

植樹した苗木は、人の助けがなくても大丈夫といえるほどの大きさになるまで、下草刈りなどの手入れをしながら、育てていきます。お近くの植樹活動へご参加ください。実施内容など詳しくは、各地区へお問合せください。



当別道民の森での「植樹祭」の応募方法などは、5月発行の「あすもりサポーター通信第20号」でお知らせします。



### 道央/道南

- 5月19日(土) 南空知地区(栗山町)
- 5月20日(日) 函館地区(知内町)
- 5月26日(土) 苫小牧地区(むかわ町)
- 6月 2日(土) 札幌西地区(喜茂別町)
- 6月 2日(土) 室蘭地区(豊浦町)
- 6月 9日(土) 道民の森「植樹祭」(当別町神居尻)

## 2012年度 春の植樹日程



### 道北/道東

- 5月27日(日) 釧路地区(白糠町)
- 6月17日(日) 帯広地区(上士幌町)
- 6月 2日(土) 旭川地区(東川町)
- 6月23日(土) 北見地区(美幌町)



自然環境保全に携わる専門家が集まった任意団体を経て、2004年にNPO法人として設立。EnVisionとは、Environment(環境)とVision(展望)を掛け合わせた造語で、「環境について新しい展望を切り開き、提案する」という意志が込められています。行政と連携した野生動物や自然環境調査、政策提言を行なう一方で、野生動物教室や森のようちえんなど、子ども向けの環境教育にも取り組んでいます。

2005年度からは、2004年秋の台風18号で被害を受けた北海道立野幌森林公園内の、「EnVisionの森」と名づけた風倒跡地で森林再生事業をスタート。「風に強く、100年前の原始性が感じられる自然林」に再生することを目指して、森づくり活動を続けています。活動の柱はできるだけ自然の力を利用すること。秋に落ちた実から生えてくる芽や稚樹を大切に、多様ないきものを再生させるなど、時間をかけた森づくりに取り組んでいます。



ホームページ <http://www.env.gr.jp/>



## 春をさがしに、森へ。



4月になって陽射しが強くなると、雪が残る森や公園の樹木の根元には、「根開け(ねあけ)」と呼ばれる雪どけの穴が見られます。樹の幹が陽光を吸収して温度があがり、根元部分の雪どけが進むのです。大地に春が来て、これから、たくさんの生きものたちの活動が始まる、春のしるし(兆候)です。

樹木の枝先のふくらんだ蕾(つぼみ)は根から吸い上げる水分の上昇を、いまや遅しと待っています。やがて、樹木はどんどん大地の水分を吸い上げて芽吹きをうながし、生長が開始されるのです。



エゾヤマザクラの冬芽(今年3月撮影)

春に行なわれる自然観察会の中には、樹液を採取して試飲するプログラムがあるものもあります。

これはシラカバなどの幹に、成長をさまたげない程度の小さな穴をあけて、少しだけ、大地から吸い上げた水分のおすそわけをいただく、というもの。ほのかに甘い、さらさらとした樹液は、いわば「樹のいのちの水」です。

(写真提供: 旭山森と人の会 皆川昌人さん)



「根開け」は春の兆候

## 春はヒグマも目覚めます

4月はヒグマも目覚める季節。足跡などを見つけたら、その場を立ち去りましょう。春のクマは飲まず食わずの冬ごもり明けでお腹がぺこぺこですから、ゆっくりエサ探しをさせてあげたいですね。市町村窓口などで、ヒグマ出没情報を確かめてから出かけましょう。

昨年秋、住宅街に親子グマが現れた札幌市では、公式ホームページに「ヒグマ対策」ページ(下記)を設けて、市内全域の出没情報などを掲載しています。

<http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/>



今年3月下旬、富良野市の山間部で確認されたヒグマの足跡。



### 「親子でおでかけ北海道 ~野あそびブック」

子どもと楽しめる、野山や水辺での遊びを数多く紹介。五感を使った、春さがしのページもあります。

(定価1575円、自然ウォッチングセンター著、一般書店で販売中)

